

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 215-0004

住 所 神奈川県川崎市麻生区万福寺3丁目1番2号

氏 名 小田急商事株式会社

代表取締役社長 井上 剛一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	小田急商事株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区万福寺3丁目1番2号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 内容	スーパーマーケット、コンビニエンスストア (食料品および衣料・雑貨の販売)		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,507 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	環境への取り組みについて、ホームページに公表しております。 http://www.odakyu-ox.net/eco/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 2,748	(実) 2,657	(実) 2,583	(実) 2,569	(実) 2,666
	(調) 2,723	(調) 2,651	(調) 2,208	(調) 2,569	(調) 2,641
削減率		(実) 3.3 %	(実) 6.0 %	(実) 6.5 %	(実) 3.0 %
		(調) 2.6 %	(調) 18.9 %	(調) 5.7 %	(調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量		原単位等の単位			目標とした値
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	
		(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	店舗、事務所において省エネ照明機器の導入、設備の定期点検や合理的な電力使用の徹底を行い、昨年との比較で排出量が削減する結果となった。(▲3.3)	
第2年度	スーパーマーケット店舗を中心に合理的な電力使用の徹底と省エネ機器の導入をおこない、基準年年度と比較して排出量を削減する結果となった。(▲6.0)	
第3年度	店舗全般に於いて昨年度と比較した場合、電力消費量が増加しているが目標値に対する取り組みにより排出量を削減する結果となった(▲5.2)	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		セブンイレブンへのフランチャイズ化による効果、継続的な取り組みにより目標を達成することができた。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		合理的な電力使用の徹底をベースに次期計画期間についても継続して施策の推進を行う。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>店舗、事務所について以下措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具導入を推進する。(LED照明への切り替え) ・新冷媒機器採用と高効率圧縮機器の導入を推進する。 ・空気調和の実施。
<p>第1年度</p>	<p>店舗、事務所において以下措置を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具導入を推進した。(LED照明への切り替え) ・新冷媒機器採用と高効率圧縮機器の導入を推進した。 ・空気調和の実施。
<p>第2年度</p>	<p>店舗において以下措置を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具導入を推進した。(LED照明への切り替え) ・新冷媒機器採用と高効率圧縮機器の導入を推進した。 ・空気調和の実施。
<p>第3年度</p>	<p>店舗において以下措置を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具導入を推進した。(LED照明への切り替え) ・新冷媒機器採用と高効率圧縮機器の導入を推進した。 ・空気調和の実施。
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の天井照明について、蛍光灯器具や白熱灯具を流用せずにLED灯具への新規切替を積極的に実施した。 ・空調更新については、本体価格との兼ね合いもあるが、その中でも高効率な機器を選定し更新を実施した。 ・空気調和については、夏場の外気温度の上昇が著しく労働環境や店舗内環境の維持しつつ実施した。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	事業所などの電気設備補助電源としての部分活用を検討中
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ストア各店舗に資源ごみ回収BOXを設置しペットボトルキャップ等の分別回収を継続して行っております。回収された資源ゴミはリサイクル資源として買取されており、分別なく扱われる資源ゴミを削減することによりゴミ焼却処理時のCO2削減に貢献します。 ・ストア各店舗においてレジ袋削減協力店舗としてマイバックを推奨することにより廃棄物の削減に貢献します。
第1年度	計画時の措置内容を継続し実施(ストア各店舗による分別回収、マイバックの推奨)
第2年度	計画時の措置内容を継続し実施(ストア各店舗による分別回収、マイバックの推奨)
第3年度	計画時の措置内容を継続し実施(ストア各店舗による分別回収、マイバックの推奨)

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<p>小田急グループ各社と協力し食料品店、飲食店などより再利用可能な余剰食品を集め、養豚用に飼料化する取り組みを行っております。従来の粉状の飼料と異なりリキッド化を実現しており、製造工程で乾燥などに掛かるエネルギー使用量の削減に貢献します。</p>
第1年度	計画時の措置内容を継続し実施(余剰食品の飼料化)
第2年度	計画時の措置内容を継続し実施(余剰食品の飼料化)
第3年度	計画時の措置内容を継続し実施(余剰食品の飼料化)

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	2,748 t-CO ₂	2,657 t-CO ₂	2,583 t-CO ₂	2,569 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	1,553 KL	1,471 KL	1,430 KL	1,507 KL
事業所の数	14	14	14	14

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度